

市民公開セミナー

「がん遺伝子パネル検査のアンケート調査研究」

—がんゲノム医療のこれまでの経験を通じて、
ゲノム医療について一緒に考えてみませんか—

厚生労働省科学研究費補助金（瀬戸班）では、「がん遺伝子パネル検査の診療実態および受検患者の体験に関する調査研究」として、全国のがんゲノム医療中核拠点病院（病院長等連絡会議 診療WG他）の協力のもと、がんゲノム医療に関わる様々なアンケート調査を実施してきました。

がんゲノム医療をお受けになった患者さんが、説明や結果をお聞きになってどのように受け止められたのか、ご紹介します。また各医療機関におけるゲノム医療提供体制の全国調査結果もあわせてお伝えします。

がんゲノム医療について、市民、患者・ご家族の方々にとって身近に考えてみる機会として、是非ご参加下さい。

第一部

・冒頭の挨拶

東京大学医学部附属病院 病院長 瀬戸 泰之（研究代表者）

・がん遺伝子パネル検査とは

演者：京都大学大学院医学系研究科 腫瘍薬物治療学 武藤 学

・がんゲノム医療の提供体制

演者：国立がん研究センター中央病院 臨床研究支援部門 沖田 南都子

・がんゲノム医療と遺伝性腫瘍

演者：岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 臨床遺伝子医療学 平沢 晃

第二部

・アンケート結果の説明

①患者さんたちからいただいたアンケート調査結果

演者：東京大学大学院 次世代プレジジョンメディシン開発講座 鹿毛 秀宣

②がんゲノム医療実施機関における提供体制に関するアンケート調査結果

演者：東京大学大学院 統合ゲノム学 織田 克利

・質疑応答

協力者募集のご案内

（セミナー終了後、本研究にご協力くださる患者・市民の方を募集予定です。）

開催方法 オンライン（Zoomにて）

参加申込 事前申込必要（定員になり次第締切）

下記URLまたはQRコードから必要事項をご記入の上、お申し込みください。

<https://forms.gle/u3ieTsxYZdiyKqWt5>

※ 市民、患者どなたでも参加可能

主催

厚生労働省科学研究費補助金 がん対策推進総合研究事業（瀬戸班）

共催

「がんゲノム医療推進に向けたがん遺伝子パネル検査の実態調査研究」

がんゲノム医療中核拠点病院等連絡会議 診療ワーキンググループ（診療WG）

（座長 武藤学、副座長 土原一哉）

患者体験調査事務局：東京大学医学部附属病院 ゲノム診療部・<https://www.genome-htu.jp>

臨床研究登録：<https://jrct.niph.go.jp/latest-detail/jRCT1030210547>

お問い合わせ先：genome-info@adm.h.u-tokyo.ac.jp

参加
無料

10/10

（月・祝）

14:00-16:00

